

【実践能力習得訓練コース実施例】

店舗スタッフ訓練科

40代 男性 身体障害（3級）・知的障害（B2）の方

[1日の訓練時間] 5時間 [訓練期間] 1か月 [総訓練時間] 90時間

訓練内容	商品品出し、店内清掃
受講動機	スーパーでの勤務経験があり、慣れている販売業への就職を希望。本人の中で通勤可能な範囲が限られており、幅を広げるためにも訓練を受講することとした。



■障害に対応した指導の工夫や配慮

『バスを2本乗り継いで通所が不安』

- ・待ち時間や移動の少ないバスの乗り継ぎを提案し、バスの時間に合わせて訓練時間を設定した。
- ・入校前に通所練習を複数回実施。
- ・帰路の乗り継ぎの待ち時間を支援者への連絡時間とし、安全確認とともに訓練の聞き取りを行った。

『品出しの場所や方法を正しく覚えること』

- ・当初同じカテゴリーを集中して担当することで、本人が自信をもって取り組むことができた。
- ・徐々に範囲を拡大し、修了前には自分で考えて仕事を見つける姿も見られた。

『お客様対応』

- ・お客様からの問いかけについては、決まった言葉で対応できるよう指導。
- ・社員の誰に繋ぐかを明確にし、スムーズに対応できた。挨拶も上手にできた。

■訓練の成果・訓練修了後の状況について

- ・訓練場所に就職。就業時間を訓練中と同じ時間で設定していただき、引き続きバスで通勤できている。
- ・体幹が弱いため、体の負担を減らす配慮（お菓子の品出しをメインにする、重いものは台車を横づけにしてかまわない等）を受けながら生き生きと働いている。
- ・一生懸命動く姿勢が評価され、忙しい開店前の品出しでは、周りから頼られる存在になっている。

